

9月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和7年9月末現在〕

令和7年10月17日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「売上高」、「収益状況」のいずれも前年同月比は悪化し、前月比は「景況」が改善し、「売上高」が変化なし、「収益状況」が悪化した。

業種別でみると、「景況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比は製造業が改善し、非製造業は悪化がなかった。「売上高」の前年同月比は製造業は悪化した、非製造業は変化がなかった。前月比は製造業は改善したが、非製造業は悪化した。「収益状況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比も製造業、非製造業ともに悪化した。最低賃金が大幅に値上げされたことによる今後の対応への懸念に関する意見が多くみられた。

景況DI

全体では、前月比 2.0ポイント改善の▲30.6ポイント、製造業は、前月比 4.0ポイント改善の▲32.0ポイント、非製造業は、前月比 変化なしの▲29.2ポイントとなった。

売上高DI

全体では、前月比 変化なしの▲4.1ポイント、製造業は、16.0ポイント改善の▲8.0ポイント、非製造業は、前月比 16.7ポイント悪化の0.0ポイントとなった。

収益状況DI

全体では、10.2ポイント悪化の▲32.7ポイント、製造業は、4.0ポイント悪化の▲32.0ポイント、非製造業は、16.7ポイント悪化の▲33.3ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	学校給食パン	県の最低賃金の引上げ率が過去最高の6.9%となり、1,074円に決定した。学校給食事業者にとっては非常に厳しい経営状況になることが見込まれる。国、県等では中小企業向け最低賃金引き上げに伴うサポートや補助金などを実施しているが、手続きが煩雑であり申請は容易ではない。
		清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県における8月の清酒課税移出数量は、対前年同月比99.1%であった。本格焼酎については、対前年101.4%となった。清酒については前年比同額程度であるが、2～3年前に比べると減少しており厳しい状況である。 ○県内当業界について 主食米の高騰により酒米の値段も非常に高い水準となっている。昨年は60kg税抜きで19,000円であった米が今年は31,000円となっている。酒は嗜好品であることから、米の値上がり分を直接、価格転嫁することは難しい。大幅に値上げした場合、販売不振となることは明確であり、赤字拡大が見込まれる状況で今年度の酒造りの量を減少させる酒蔵が増加している。
		納豆	一部大手メーカーが値上げをしたことにより、中小企業も値上げをしやすい状況にはなったが、最低賃金の上昇分を価格転嫁することは難しい。 人手不足により、工場稼働率が低下している。
		菓子	販売価格上昇による買い控えにより来店客数が減少し、店内のにぎわいがない。
		漬物	原材料、包装資材、運送経費等が値上げされており、漬物製品も各社値上げ交渉を行っているが、利益増収にはなかなか繋がらない状況である。 秋の大根を気候の変動を受けずに収穫できることを期待している。
		食肉	原料が減少しているため、売上、収益ともに悪化している状況である。
		外衣シャツ	縫製業の経営環境は良い状況ではない。
	木材・木材製品	製材	・国産材製品の荷動きが悪く、価格については高値安定で推移した。 ・外材については入荷量、価格ともに横ばいで推移した。 ・原木価格についてもスギ・ヒノキともに横ばいで推移した。
		県北地区プレカット	月間加工坪数目標（1,000坪）は50%達成であった。 10月の加工予定は、初旬から中旬に集中し、25棟を予定している。 木材費は、高値安定を維持している。
	紙・紙加工品	段ボール	大手企業は前年並みの生産量をキープしているが、中小企業は売上や利益が前年を下回っているところもみられ、依然として厳しい状況となっている。 大手企業と異なり、中小企業の取引先は規模が小さく製品の値上げができていないことが推測され、取引先の収益の悪化を心配している。 来月からは資材の値上がりや最低賃金の上昇により収益に影響がでることが予想される。
	印刷	総合印刷	印刷・情報誌の国内出荷額が7月は前年同月比7.6%減となった。それに伴い、県内印刷業者は依然として厳しい状況となっている。また、最低賃金の上昇が今後どう影響するか注視していきたい。
		コンクリート製品	10月1日付で新規賛助会員が入会した。
		陶磁器	秋の観光シーズンに入り、笠間市全体が賑わいを見せている。 「笠間の栗」がブランド化されたことにより、栗を模した皿やカップなどの売上が好調である。
製 造 業	鉄鋼・金属	鉄鋼	建築資材関係・機械部品等の受注は前年度程度であったが、自動車部品関係等の受注量は減少傾向であり、全体の売上は対前年度比で1割程度の減少であった。半導体部品や半導体製造設備関連の部品は低い水準で維持している。 最低賃金の大幅な引き上げが決まったことにより、加工賃の値上げを検討している企業が増加している。 金属材料、工業薬品、燃料代を含む石油製品は高値を維持している。
	一般機器	生産用機械	対象7組合員（製造会社）の売上状況は、増加（対前年同月比）6社、減少（対前年同月比）は1社となった。全体増減率は132%となった。 団地全体の売上高は、主要取引先からの受注が増加したことから5ヶ月連続で対前年同月比を上回った。 団地全体の従業員数は、前年末に派遣社員数が減少したことから対前年同月比では減少しているが、売上が増加していることもあり、対前月比では増加している。
		重電	最低賃金の上昇分が売値に反映されるまで時間を要するため、対応が大変であり組合員工場の現状を国・県等に理解してもらいたい。国で最低賃金を決めるのはやめて個々の会社で決められるようにしたい。
	輸送用機器	県北地区自動車部品	主要な取引先の状況変化（内部統制等）により全体的に不安定な状況下にある。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	卸売業	生鮮魚介	精算所の取扱高が前年同月比8.69%増加した。 商品単価の上昇が続いているため、取扱高は前年を上回っている。また、数年ぶりに秋刀魚の入荷が伸びたことにより、市場に活気が戻ってきているように感じている。 今後も年末に向けて秋鮭等の年末商材の荷動きにも期待していきたい。
		米麦	令和7年産の米の集荷が最盛期となり、取扱数量は増えたものの価格高騰により、販売状況の悪化や金利上昇などにより厳しい状態となっている。
		袋セメント	袋セメントの9月度出荷数量は24千袋、前年同月比101.8%の実績となった。 8月の猛暑による工事「不稼働日」の影響で繰り延べになっていた工事案件の進捗に進展がみられ、出荷数量は対前月比で増加となった。
		鹿行地区共同店舗	売上高は96.90%（前年同月比）と減少であった。 来客数は92.09%（前年同月比）と減少であった。
		県南地区共同店舗	ショッピングセンター全体として9月の売上高（対前年同月比）は99.00%と微減となった。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	小売業	燃料	猛暑や物価上昇による消費マインドの低下により、8月に引き続き、対前年度比で売上が全体的に下回る実績となった。 国の支援策により価格は抑えられているものの、9月29日時点の茨城県のレギュラーガソリンの平均価格は172.5円と170円を超えており、対前年同月より0.9円高く依然として高値を維持している。 7月30日に与野党の国会対策委員長が国会内で会談し、ガソリン税の「暫定税率（正式には「特別税率）」」を年内に廃止することで合意したが、11月1日より廃止するとの与野党案も出ている。 暫定税率分の価格が一気に下がった場合、買い控えや給油客の殺到等のガソリンスタンド店頭でのトラブルや収入減少などの経営上の問題等が懸念される。また、軽油に係る暫定税率分は地方税であり、茨城県の収入にも大きく影響することから、当組合運営にも支障がでてくる大きな問題であるため、国の動向に注視していく必要がある。
		二輪自動車	生産中止になった50ccバイクは、新車、中古ともに在庫数が減少している。
		スポーツ用品	地元大手企業の工場縮小により従業員が全国の工場や事業所に転属されたことに伴い中学生や小学生が減少したことにより、売上は厳しい状況であるが、市外に販路を拡大したことにより、全体の売上は不変で推移している。
		中古自動車	9月の販売台数は対前年同月比で113.3%と増加し、売上高も対前年同月比で112.4%と増加した。 中古市場の車体数は依然として少ない状態が続いており、供給不足がみられる。 前月同様に大型店が値上げを行い市場を引き上げている形は変わらず、全体的に好調であるとは言えない。
		野菜・果実	9月の野菜果実の取扱高（対前年度比）は106.3%と増加となった。過去5年間の平均と比較しても106.8%と増加となった。 たまねぎ、じゃがいも、ニンジン、トマト等の家庭で主力となる野菜を中心に単価が上がっており、その影響から売上高が増加した。
非 製 造 業		水戸	
	サービス業	自動車整備	組合員の事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）は、普通車・軽自動車ともに微増となった。（対前年同月比）
		旅館、ホテル	・ 県北の奥久慈エリアでは、全体的に個人日帰り客が増加し、道の駅も賑わいを見せた。奥久慈エリアではバスツアーや近隣地域の研修旅行など団体での昼食を受け入れできる飲食店が少なく需要が増加している。9月中旬までは大学生のスポーツ合宿があり、団体需要がみられた。モビリティリゾートもてぎでモーターサイクルの大会である「MoToGP」が開催されたことにより、個人需要もみられた。インバウンドによりゴルフ場を利用する外国人が増えているが、宿泊まではつながっておらず、奥久慈エリア全体として個人のインバウンドは依然として少ない状況となっている。 ・ つくば市エリアでは、外国人よりも日本人の利用が増えてきている。単価が下がったが、以前ほどの客足の勢いはない状態である。 ・ ひたちなかエリアでは、音楽イベントの「ロックインジャパン」に変わる需要はなく、連休の影響もあり、厳しい結果となった。10月にコキアの紅葉化による予約件数の増加を期待しており、外国人の予約は増えてきている。 ・ 大洗エリアでは、日帰り客はみられるが、物価高騰などの影響により宿泊需要が減少しているように感じる。猛暑の影響により人の流れが悪い状況となっている。9/27に大洗会場花火大会が開催され、町と連携し、当日の宿泊予約をふるさと納税で受け入れる施設もみられる。 ・ 水戸エリアでは、「ロックインジャパン」が開催されなかった影響で対前年比で売上が減少しているが、例年の9月に比べると特別悪化しているわけではない。 ・ 9月20日に大阪万博で開催された宿フェスに茨城県ブースとして青年部員が出店した。
		ビル管理	売上高（対前年度比）は微増となった。 労務費や資機材消耗品費等の上昇による影響が大きく、利益増加には至っていない。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	建設業	総合	公共工事（県・市）の予算減少により発注予定件数、金額が減少しており、業績の見通しが非常に厳しい状況となっている。
	運輸業	軽貨物自動車	9月度の組合員数は、増減なし（対前年同月比）の96名、車両台数は増減なし（対前年同月比）の124台となった。運送売上高については、対前年同月比110.2%の増加となった。 全国赤帽自動車運送協同組合連合会の9月の組合員数は14名減（対前年同月比）の5,802名、車両台数は13台減（対前年同月比）の6,943台となっている。
		一般貨物自動車	主要顧客の発送物量は、対前月比では増加したが、対前年同月比では横ばいとなった。売上高も対前年同月比で横ばいとなった。 燃料価格は、首都圏で値上がりしており、収益は厳しい状況が続いている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	清酒	昨年からの急激な米価格の高騰により加工業者は苦境に陥っているため、行政には米価の歴史的 高騰により経営が圧迫されている酒造への原料米購入資金の補助金の検討をお願いしたい。
窯業・土石製品	コンクリート製品	公共工事費（土木）の拡充
電気機器	重電	最低賃金の価格変更については員工場の現状を理解したうえで行ってほしい
小売業	鹿行地区共同店舗	6月から売上高・来客数共に昨年度より減少している状況が続いているため、集客アイデアや他 商業施設での成功事例等を教えてほしい
	燃料	・揮発油に課税している二重課税の廃止 ・燃料油補助に対する消費者に対する十分な説明、補助事業の今後の見通しの事業者向けの説明 ・物価上昇、円安への対策 ・暫定税率分の軽油に係る地方税への適切な対応
サービス業	旅館・ホテル	・すぐにでも活用できそうな助成金や補助金情報の提供及びサポート ・宿泊につながるスポーツやコンベンション関係の誘致
建設業	総合	公共工事予算の確保 労務単価/経費の値上げ

月次景況調査 9月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	9月	8月	前月比	9月	8月	前月比	9月	8月	前月比
景 況	▲ 30.6	▲ 32.7	2.0	▲ 32.0	▲ 36.0	4.0	▲ 29.2	▲ 29.2	0.0
売 上 高	▲ 4.1	▲ 4.1	0.0	▲ 8.0	▲ 24.0	16.0	0.0	16.7	▲ 16.7
収 益 状 況	▲ 32.7	▲ 22.4	▲ 10.2	▲ 32.0	▲ 28.0	▲ 4.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7
販 売 価 格	22.4	22.4	0.0	8.0	4.0	4.0	37.5	41.7	▲ 4.2
取 引 条 件	▲ 16.3	▲ 10.2	▲ 6.1	▲ 16.0	▲ 16.0	0.0	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 12.5

中小企業月次景況調査(令和7年9月)DI値(前年同月比)

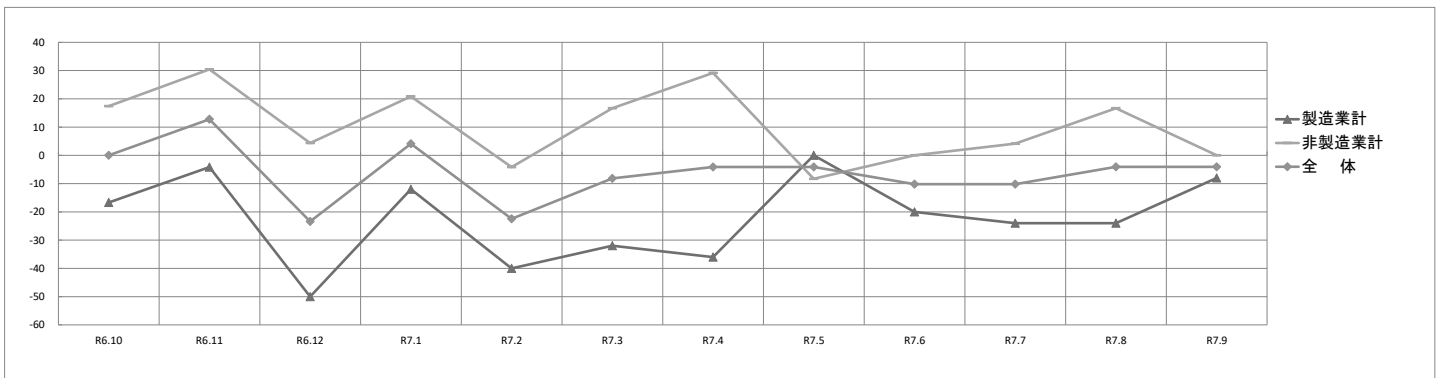
		売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況															
		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)													
				増加	不変			減少	業界数			増加	不変			減少	業界数			上昇	不変			悪化	業界数			好転	不変			悪化	業界数			好転	不変	悪化	業界数	好転	不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数	好転	不変
製造業	食料品	△ 12.5	1	5	2	8	△ 25.0	0	6	2	8	62.5	5	3	0	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 50.0	0	4	4	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 37.5	0	5	3	8			
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2			
	木材・木製品	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2			
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1			
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1			
	窯業・土石製品	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	1	2	1	4			
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1			
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1			
	電気機器	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2			
	輸送機器	0.0	1	1	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3			
	製造業計	△ 8.0	5	13	7	25	△ 28.0	0	18	7	25	8.0	5	17	3	25	△ 16.0	1	19	5	25	△ 32.0	2	13	10	25	△ 28.0	0	18	7	25	△ 32.0	0	17	8	25	△ 28.0	0	18	7	25	△ 32.0	1	15	9	25			
非製造業	卸 売 業	33.3	2	0	1	3	33.3	1	2	0	3	66.7	2	1	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3									
	小 売 業 (商店街含む)	0.0	3	5	3	11	△ 18.2	0	9	2	11	45.5	5	6	0	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 27.3	0	8	3	11					△ 9.1	0	10	1	11	0.0	0	11	0	11	△ 36.4	0	7	4	11				
	サービス業	△ 33.3	0	2	1	3					33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0					0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3					
	建 設 業	△ 20.0	0	4	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0					0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5					
	運 輸 業	50.0	1	1	0	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0					0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2
	非製造業計	0.0	6	12	6	24					△ 7.1	1	11	2	14	37.5	9	15	0	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 33.3					0	16	8	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 29.2	0	15	7	24
全 体		△ 4.1	11	25	13	49	△ 20.5	1	29	9	39	22.4	14	32	3	49	△ 16.3	1	39	9	49	△ 32.7	2	29	18	49	△ 22.4	0	38	11	49	△ 32.0	0	17	8	25	△ 22.4	0	38	11	49	△ 30.6	1	30	16	49			

D I 値推移表 (R6. 10月 ~ R7. 9月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R6. 10	R6. 11	R6. 12	R7. 1	R7. 2	R7. 3	R7. 4	R7. 5	R7. 6	R7. 7	R7. 8	R7. 9
食料品製造業	▲ 28.6	14.3	▲ 42.9	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 12.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 17.6	▲ 47.1	▲ 35.3	▲ 35.2	5.8	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 5.8
製造業計	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 50.0	▲ 12.0	▲ 40.0	▲ 32.0	▲ 36.0	0.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 8.0
卸売業	0.0	33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	66.7	33.3
小売業(商店街含む)	27.3	54.5	9.1	45.5	9.1	9.1	54.5	▲ 27.3	▲ 9.1	9.1	9.1	0.0
サービス業	50.0	50.0	▲ 50.0	33.3	33.3	66.7	100.0	66.7	66.7	33.3	66.7	▲ 33.3
建設業	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	50.0
非製造業計	17.4	30.4	4.3	20.8	▲ 4.2	16.7	29.2	▲ 8.3	0.0	4.2	16.7	0.0
全体	0.0	12.8	▲ 23.4	4.1	▲ 22.4	▲ 8.2	▲ 4.1	▲ 4.1	▲ 10.2	▲ 10.2	▲ 4.1	▲ 4.1

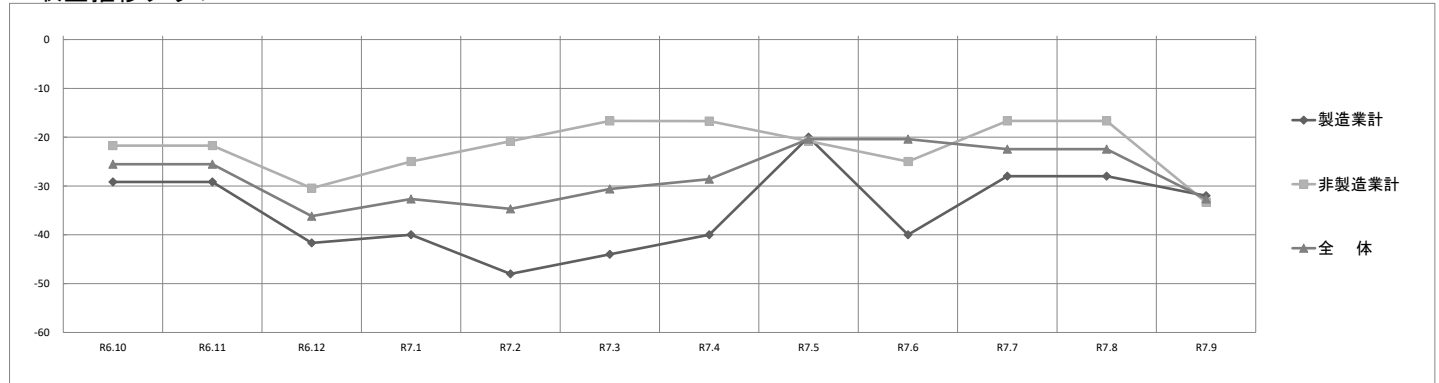
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R6. 10	R6. 11	R6. 12	R7. 1	R7. 2	R7. 3	R7. 4	R7. 5	R7. 6	R7. 7	R7. 8	R7. 9
食料品製造業	▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 47.1	▲ 47.1	▲ 29.4	▲ 11.7	▲ 41.1	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 23.5
製造業計	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 44.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 32.0
卸売業	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 9.1	9.1	▲ 9.1	▲ 27.3
サービス業	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	▲ 66.7
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 21.7	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3
全体	▲ 25.5	▲ 25.5	▲ 36.2	▲ 32.7	▲ 34.7	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 20.4	▲ 20.4	▲ 22.4	▲ 22.4	▲ 32.7

《収益推移グラフ》

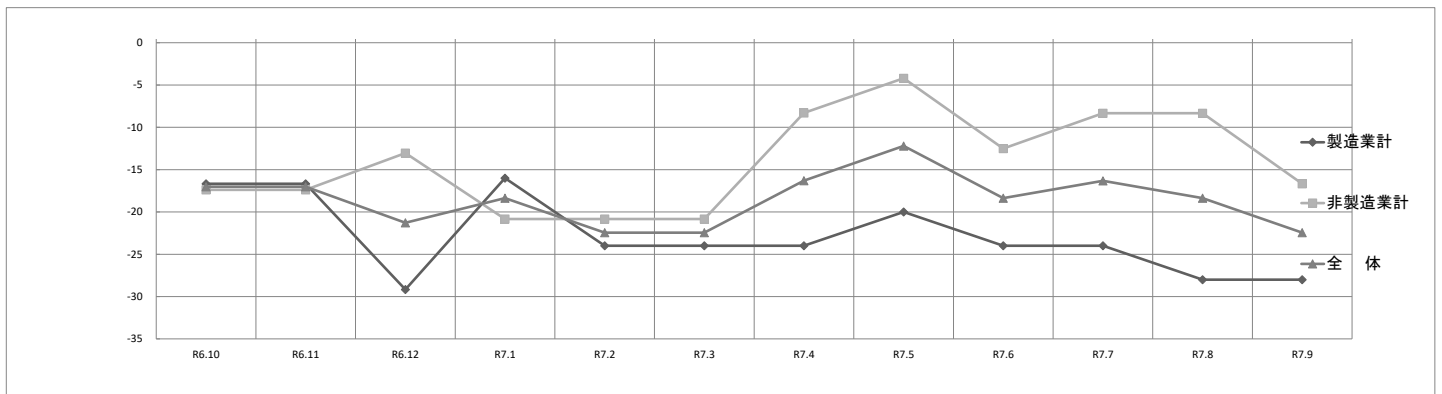


D I 値推移表 (R6. 10月 ~ R7. 9月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R6. 10	R6. 11	R6. 12	R7. 1	R7. 2	R7. 3	R7. 4	R7. 5	R7. 6	R7. 7	R7. 8	R7. 9
食料品製造業	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 17.6	▲ 17.6	▲ 11.7	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 23.5
製造業計	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 28.0	▲ 28.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 9.1	0.0	▲ 9.1	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 13.0	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 16.7
全体	▲ 17.0	▲ 17.0	▲ 21.3	▲ 18.4	▲ 22.4	▲ 22.4	▲ 16.3	▲ 12.2	▲ 18.4	▲ 16.3	▲ 18.4	▲ 22.4

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R6. 10	R6. 11	R6. 12	R7. 1	R7. 2	R7. 3	R7. 4	R7. 5	R7. 6	R7. 7	R7. 8	R7. 9
食料品製造業	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 5.8	▲ 35.2	▲ 35.2	▲ 29.4	▲ 29.4
製造業計	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 32.0	▲ 36.0	▲ 32.0
卸売業	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	0.0	▲ 18.2	▲ 36.4
サービス業	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3
建設業	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.4	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 29.2
全体	▲ 21.3	▲ 27.7	▲ 31.9	▲ 28.6	▲ 34.7	▲ 34.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 32.7	▲ 30.6

《景況推移グラフ》

